

東麻布二丁目複合施設整備計画 整備コンセプト

東麻布二丁目複合施設については、次のコンセプトを基に、地域のランドマークとなるような施設を整備します。

1 小学校跡地を活用した地域コミュニティの核としての施設づくり

- (1) 旧飯倉小学校跡地という地元から愛着の持たれている場所にふさわしい、地域コミュニティ形成の拠点としての複合施設をつくります。
- (2) 保育園、学童クラブ、小規模多機能型居宅介護施設、区民協働スペース等が設置される複合施設で、子どもから高齢者まで多世代交流の場をつくり、地域の絆を育みます。
- (3) 高齢者が住み慣れた地域の中で、在宅で継続して生活することを支援する介護サービスを提供します。
- (4) 学童クラブの待機児童解消への対策や地域での子育て支援のために、親しまれる施設をつくります。
- (5) 高低差のある敷地の地形を活かしながら、利用者がアプローチしやすく、安全で安心な親しみやすい施設をつくります。

2 地域防災の向上に貢献し、防犯性の高い安全・安心な施設づくり

- (1) 区民協働スペースでは、区民避難所としての必要な機能を確保し避難しやすい地域防災の向上に貢献する施設をつくります。
- (2) 避難所の感染症対策やプライバシー確保のため、避難スペースを拡大します。
- (3) 防災備蓄倉庫を拡大し、必要な資機材を災害時に使用しやすい場所に保管します。また、避難所の感染症対策やプライバシー保護に必要な資材を保管し、区民避難所としての機能を高めます。
- (4) 不審者の侵入を防止する等、防犯性の高い安全・安心な施設をつくります。

3 地球環境と共生する、地球環境へ貢献する施設づくり

- (1) 再生可能エネルギーの利用や効率的な省エネルギー消費により地球環境の負荷軽減を図り、持続的発展が可能な都市構築に貢献する施設づくりを目指します。
- (2) 国産木材の活用や敷地内緑化の推進、太陽光発電システム等を導入して、施設利用者が環境への関心を高められる場にします。
- (3) 自然通風、自然採光によって都心でありながらも自然環境の恩恵を感じられる、自然と共生した施設づくりを目指します。
- (4) 港区の環境社会への取組や国及び国際的な建築物の木造化の流れに鑑み、本施設の木造化及び木質化の検討を行います。